

宇宙基本計画工程表（宇宙安全保障部会関連）における 今後の取組の方向性について（案）

令和元年5月17日
宇宙開発戦略推進事務局

防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画を踏まえ、宇宙安全保障の一層の強化に向けた取組を推進する。

工程表15 Xバンド防衛衛星通信網

- ・2022年度までに3号機を整備し、2022年度の打上げを目指す。防衛省は、これら衛星通信網整備を通じて、自衛隊の指揮統制・情報通信能力を強化するとともに、更なる抗たん性の強化について検討する。

工程表21 宇宙状況把握（SSA）

- ・SSA情報の収集能力向上や情報共有を進めるため、米国をはじめとする二国間協力の具体的な取組を進めるとともに、防衛省による、宇宙設置型光学望遠鏡及びSSAレーザー測距装置導入に向けた取組を推進する。
- ・宇宙空間の状況を常時継続的に監視するとともに、平時から有事までのあらゆる段階において宇宙利用の優位を確保し得るよう、航空自衛隊において宇宙領域専門部隊1個隊を新編すべく、具体的な検討を推進する。
- ・将来の宇宙状況把握（SSA）情報収集能力向上を検討するため、宇宙状況把握（SSA）衛星等の技術動向等を調査する。
- ・宇宙空間における電波の利用状況等を把握する技術実現に向けて取組むとともに、その利用状況に関する情報の取扱いについて検討する。

工程表22 海洋状況把握（MDA）

- ・海洋基本計画及び同工程表の取組と連携し、JAXA所有の各種衛星及び民間等の小型衛星（光学衛星・SAR衛星）の活用も視野に入れた、海洋情報の収集・取得に関する体制や取組を、リモートセンシング衛星の技術、提供サービス、ニーズ等を踏まえ強化する。
- ・MDAの強化に資する最新の自動船舶識別装置（AIS）関連技術の調査研究を行う。

工程表 2 4 宇宙システム全体の機能保証強化

- ・ B C P 等のベストプラクティスの共有を踏まえ、衛星運用システムのうち地上局に対するストレステスト等を検討する。
- ・宇宙システムについてのリスクアセスメントを強化していくための調査研究を行う。
- ・量子暗号技術等を活用した通信の強化、スペースデブリの除去技術、小型コンステレーションの活用等の宇宙システムのミッションアシュアランス（機能保証）に資する技術開発や衛星運用の動向を踏まえ、機能保障上の重要性に応じ関係省庁間の連携に資する取組を推進する。
- ・防衛省は、必要な調査研究を行った上で、我が国衛星の脆弱性への対応を検討・演練するための訓練用装置及び我が国衛星に対する電磁妨害状況を把握する装置の実装に向けた取組を推進する。

工程表 3 7 J A X A と防衛省との連携強化

- ・大綱・中期防の決定を踏まえ、防衛省の宇宙領域専門部隊新編を含む宇宙分野における更なる能力強化に向け、JAXA との連携を強化する。例えば、SSA システムの連携や人事交流に加え、SSA 衛星に関する協力、JAXA による教育支援や防衛省の教育制度検討への助言を含む人材育成に係る取組における連携を強化する。

工程表 5 1 宇宙安全保障の確保に向けたその他の取組

- ・2018年11月の米副大統領の総理表敬、2019年4月の日米2+2における共同声明も踏まえ、米国製 SSA センサの準天頂衛星ホステッド・ペイロードの実現に向けた取組を進め、日米の宇宙安全保障分野での連携強化を促進する。
- ・大綱・中期防の決定を踏まえ、防衛省の宇宙領域専門部隊新編を含む宇宙分野における更なる能力強化に向け、宇宙領域を専門とする職種の新設や教育の充実についての具体化に向けた検討を進める。その際、防衛省は JAXA や同盟国等との連携を強化し、それらの早期実現を図る。